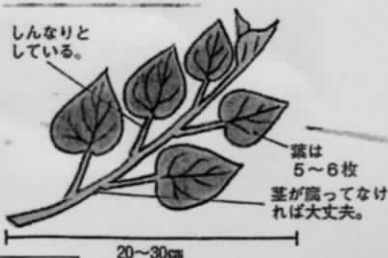


挿し穂

からのサツマイモの栽培方法

※お届け
挿し穂
イメージ



お届け苗について

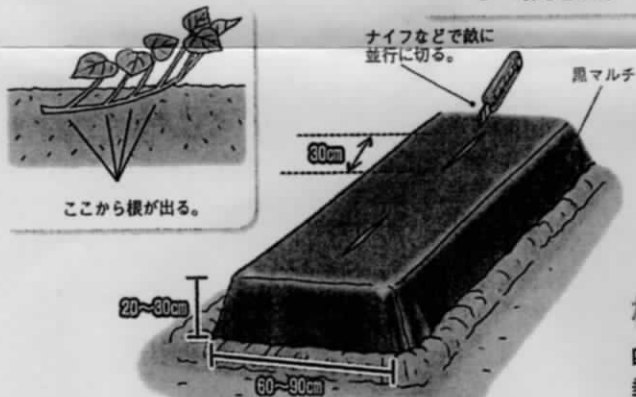
挿し穂は葉が5~6枚ついた20~30cmほどのつるで、品種によって長さは異なります。購入すると商品は紙に包まれており、葉や茎はしんなりしているのが普通です。中には葉が黄色くなっていることもありますが、茎が腐っていなければ大丈夫です。黄変した葉を取り除き植えて下さい。挿し穂は到着後すぐに植え付けが可能です。すぐに植え付けできなくても数日でしたら冷暗所で保存できます。(必ず到着後に開封し苗の状態を確認して下さい)。1週間以上植え付けできない場合は、プランターや畑に仮植えするとよいでしょう。プロの農家さんによっては、2~3日(場合によってはさらに2~3日)冷暗所に置いておき、白い根がチラッと見えてきてから植えるというやり方もあるようです。

4 畝立て・植え付け

高さ20~30cm×幅60~90cmの畝を立てて、黒マルチを張ります。寒冷地では植え付けの1週間前に張っておくと地温が高くなります。畝の中心部に30cm間隔で穴をあけ、そこに挿し穂を畝に平行にして埋めていきます。葉は地上に出します。



3~4節を埋める。



5 病害虫対策

病気や虫はあまり心配ありません。連作障害は起きにくいですが、ネコブセンチュウに気をつけます。対策として2~3年に1回植え付け場所を変えましょう。

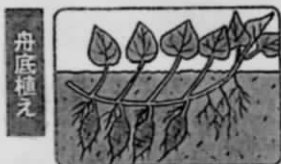
6 収穫

必ず霜が降りる前に収穫しましょう。植え付け後120日くらいで掘り取ります。サツマイモの収穫時期は特に決まりはありませんので、ある程度太ってきたら収穫可能です。つるを地際で切り、マルチをはずして掘り上げる。クワはイモを傷つけないよう深く打ち込む。※収穫後2~4週間、風通しのよい日陰に置いておくと甘みが増しやすいです。

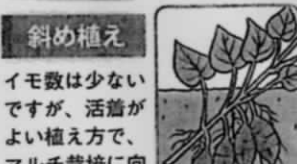


植え方のいろいろ

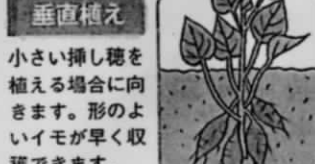
四つの植え方がありますが、購入した挿し穂からの栽培では、斜め植え、垂直植え、船底植えがおすすめです。



植付けやすく、活着もよい、一般的な植え方です。穂のまん中あたりをくぼませます。



イモ数は少ないですが、活着がよい植え方で、マルチ栽培に向きます。



小さい挿し穂を植える場合に向きます。形のよいイモが早く収穫できます。



大きい穂を植える場合に向きます。イモはつきやすいですが、活着がやや難しいです。

タキイ種苗株式会社